

# 千島海溝沿いの巨大地震から命を守る

巨大津波、逃げられる時間は正味16分!?



昨年末、政府は千島海溝沿いを震源とするM9レベルの巨大地震の被害想定を発表しました。冬の深夜に発生、最も深刻な場合は、死者10万人、建物被害は全壊・焼失8万4千棟、被害額は17兆円になります。避難開始に22分を要し、積雪凍結路面で避難に時間がかかり、溺死しなくても冷水に浸かることで低体温死になるからです。

の想定のように避難開始が12分でできたとしても、正味逃げられる時間は16分です。発災後直ちに避難を開始すること、民間ビルをふくめ可能な限りのたくさんの津波避難施設を確保することが欠かせません。

津波で市役所が1m浸水するのに28分。仮に市

## 可能な全ての施設を津波避難施設に



村上かずしげ議員は、一般質問でこれまでの市の考え方にとられず、民間施設も含めて避難施設を大幅に増やすべきと質問しました。市も、津波の基準水位が3月末に発表された後に、避難施設の拡大を大きく進める考えです。

### これまでの避難施設指定の考え方

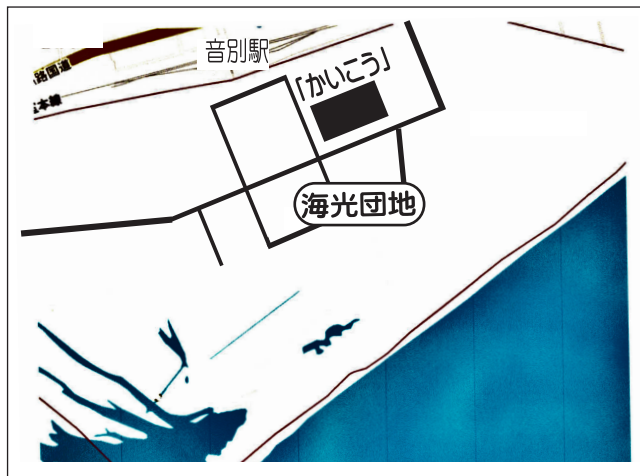
- 病院は治療を最優先とするため指定しない。(他に避難施設がない場合のみ例外)
- 夜間も管理人などがいる所か、窓やドアを壊して入ることを許可してくれた建物しか指定しない。
- 所定の時間内に避難できるところに既に避難所があれば、それ以外の複数の避難所は指定しない。

## 音別町の市営住宅を津波避難施設に

音別町の津波避難についての質問に、市は「海光団地にある『かいこう』(5階建ての市営住宅)について、津波高の想定が変わり、新しく避難施設として利用することが可能と考えている」と答弁しました。

言ってきましたが、大きく前進することになりました。

避難施設として活用することを前提に造りながら、高さが足りない指定できずにいました。『かいこう』の改修も含めて避難施設として指定を、と繰り返し提



### 大楽毛については3つのハード整備を求めます

- ① 児童センター・生活館・老人福祉センターの複合施設を避難施設に。
- ② 消防大楽毛支署と分団の合築施設に避難機能を。
- ③ 大楽毛南地区に津波避難タワーなどの建設。